所管調査報告

総務文教常任委員会

日にち：７月10日㈮

調査先：太宰府南小学校、太宰府南コミュニティセンター、大宰府展示館、太宰府市歴史スポーツ公園

太宰府南小学校は、授業の効率化及び教職員の働き方改革が進み、残業時間が少なくなってきているとのことでした。また、PTA加入率100％を維持し、地域・保護者・教職員の努力をうかがうことができました。

太宰府南コミュニティセンターは太宰府南小学校と併設しており、地域参画として良い取組がなされていました。学習ルームの設置、駐車場確保が課題であると感じました。

大宰府展示館は、看板が目立ちづらいなどの課題があり、アイデア次第でより一層の来客が見込める要素をもつ施設であると感じました。

太宰府市歴史スポーツ公園は平成元年開園と古く、全体的に計画的なメンテナンスが必要であると感じました。また、公園なのか競技場なのか曖昧なままで、今後協議する必要があります。



歴史スポーツ公園の調査の様子

環境厚生常任委員会

日にち：７月15日㈬

調査先：二日市カトリック幼稚園、太宰府市シルバー人材センター、
太宰府東第二学童保育所、太宰府市環境美化センター

二日市カトリック幼稚園では、児童発達支援事業所に通う子どもが25～30％いる実情や、「こども誰でも通園制度」への対応、制度対象外となる３歳以上の子どもへの独自対応、それに伴う職員負担を確認しました。

シルバー人材センターは、会員数が増える中、発注や職種の拡大、福祉分野との連携による活躍の場づくりが課題です。

学童保育所では、ICTによる出欠・保護者連絡の効率化や熱中症指数計の活用など、安全管理の工夫を確認しました。

環境美化センターでは、手作業による分別負担に加え、埋立地の残余容量が約30％という課題も把握しました。

現場で得た具体的な課題を、今後の審査や施策提言に反映していきます。



環境美化センターの調査の様子

建設経済常任委員会

日にち：７月17日㈮

調査先：太宰府市上下水道センター、松川浄水場、
独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所　福岡導水管理所

【太宰府市上下水道センター、松川浄水場】

太宰府市では、自己水源（松川ダム・北谷ダム・大佐野ダム）と企業団からの受水（福岡地区水道企業団・山神水道企業団）を組み合わせて、安定した給水が行われています。原水が安全な水道水になるまでの流れを松川浄水場で見学しました。施設の老朽化や経営の健全化など今後の課題にも取り組んでいく必要があります。

【独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所　福岡導水管理所】

福岡都市圏の人口増加に伴う水道用水の需要増加に対処するものとして、筑後川水系水資源開発基本計画（昭和49年７月閣議決定）に基づき、昭和58年に25kmの導水路が完成して、福岡都市圏の10市６町及び佐賀県基山町への水道水を供給しています。

こちらの施設も今後老朽化対策・地震対策が必要になります。



福岡導水管理所の調査の様子